

# 国家予算案、家計なら赤字

## 2020年度の国家予算案を家計に例えると

収入	年収(税込)	635万円↑	支出	借金返済(国債費)	233万円↓
	副業(税外収入)	65万円↑		年金・医療費など(社会保障費)	358万円↑
	借金	325万円↓		子への送付(地方交付税)	158万円↓
	(国債発行)			教育費(文教・科学振興費)	55万円↓
	収入合計	1026万円↑		修繕費(公共投資)	68万円↓
				防犯対策費(防衛費)	53万円↑
			その他	99万円↑	
			支出合計	1026万円↑	

### ローン残高(国債残高)約9979万円↑

2020年度政府予算を分かりやすく1兆円を10万円に換算して、家計に例えるところなる。

※2020年度一般会計102.6兆円を1026万円に換算している。

※↑↓は、前年と比べている。合計は一致しない。

※2020年末公債残高約997.9兆円の見込みで、9979万円としている。

知らなきや損する

2020年、新年あけましておめでとうございます。今年も知って得する、知らなきや損するお金の知識を皆さまにお届けしたいと思います。

昨年12月20日に、政府は2020年度の国の財政の予算案を閣議決定しました。2020年度の予算案は、19年度に比べ1兆2009億円増えて、2年連続100兆円を超え102兆6580億円です。と、言われても想像がつかないので、1000億円を1万円として計算し、図のように国の予算案を家計にたとえてみましょう。

年収は、昨年と比べて消費税増税で消費税による収入がトップとなり、増収となって635万円、副業(税外収入)が65万円で合計700万円です。その収入の半分以上を年金、医療、介護などの社会保障費に使います。こちら昨年より増えて358万円です。教育費(文教・科学)は減少し55万円、修繕費(公共事業)も減少し68万円、子への送付(地方交付税)も減少し158万円、防犯(防衛費)は増え53万円、その他を含めると合計は約791万円です。

昨年10月から消費税増税と同時に始まっている幼児教育・保育の無償化やキャッシュレスによるポイント還元のように、今回の予算でも消費税増税対策が切れ目なく実施されます。例えば、4月から住民税非課税世帯の大学生らを対象に、授業料の減免や給付型奨学金の支給を始めます。

しかし、家計の健全性(国の場合は基礎的財政収支と言います)を考えるとこの時点で約91万円(9兆1523億円)の赤字です。さらに今までの借金の返済(国債費)が今年度減少したものの233万円で、支出合計は約1026万円で、不足分は、やはり借金325万円でカバーすることになるわけです。

借金は返済していますが、さらに借金をしているので残高は膨らみ9979万円(国債の発行高は997.9兆円)で過去最高となっています。また、国と地方を合わせた長期の借入は1125兆円になるようです。こんな赤字の家計で大丈夫でしょうか。国会でしっかり審議してほしいですね。私たち一人一人の生活は、国の予算、政策に左右されます。私たちの家計に関わることです。関心をもっていきましょう。



暮らしのマネープラン相談センター・所長  
サードファイナンスファイナンシャルプランナー 高橋 昌子

いしかわ暮らしのマネープラン

## あなたの暮らしと財産を守るパートナー

### ■時間相談 …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

### ■マイホーム資金・住宅ローン相談 …………… 3万円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

### ■退職資金・マネープラン相談 …………… 3万円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター 金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F] ☎076-232-2038 要予約

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/> ●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00